



**2023年5月15日号**  
**平和 働き、生活できる**  
**人権 労働条件を獲得しよう**  
**環境**

ホームページ  メール 

発行責任者 齋藤隆靖 編集責任者 滝沢寿隆  
<http://unionpeace.main.jp/> [info@unionpeace.main.jp](mailto:info@unionpeace.main.jp)

ユニオンネット平和センター（略称：ユニオン平和）

〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-15-9 武蔵野ビル 2F 労働相談室気付

TEL 070-6576-2071

FAX 03-5577-7263

## 声をあげ伝えようー憲法の平和主義

4月下旬に平和フォーラム第25回総会があり、来賓の野党第1党の幹事長が、「岸田政権の防衛費拡大には反対だ。何に使うのか聞いても答えない。例えばサイバー攻撃に対処するというならまだわかる。いずれにしても日本の防衛は必要だ」「原発のリプレース（新設）には反対。再稼働するにしても最大限安全を確保する事が前提」と挨拶された。もちろん話しの言葉は正確ではないかもしれないが、「おいおい、それは平和フォーラムの基調とするものと違うのではないか」と思った次第である。だいたいこの党は改憲、防衛、原発などについて所属議員の考え方に違いあり、党としての政策が国民によく分からないと言われているのだが、期待を込めて立憲野党第1党として、もう少し頑張ってもらいたいと思う。

施行76年の5月3日の「憲法大集会」では、集会が始まる前、会場最寄り駅での駅宣行動に参加した。今年、右翼街宣車は無かったが、彼ら数人がハンドマイクを使って「憲法改正、押付け憲法粉碎、自主憲法制定」などと叫んでいた。こちらの宣伝カーの弁士に対して、スピーカーの声が聞こえにくいのか、「じじい、何言ってるんだか、わかんないんだよ！」「ばばあ、うるせんだよ！」、しまいには「みずほちゃん」とか罵声を浴びせていたが、彼らには年上を敬う気持ちも、ジェンダー思想も持ち合わせていないのか、あれでは一般国民の支持は得られないと思った。駅宣後、集会会場に向かう通路で、右翼と一緒にあったが、ユニホーム袖には、「県本部」、スピーカーには大きく「習志野」と書いてあったので、千葉から動員されて来たのだろう。

隔月に行っている街宣行動は9日に、新橋駅SL広場で行ったが、同場所で憲法審査会では与党に組し、民主党から分かれた〇〇党との駅宣行動とかち合ったので、SL正面から外れた所で街宣を行っていると、今までも見たことない数（150人から200人）の若者がその周辺に集まってきて一杯になった。最初は、その政党の動員かと思ったが、実際はある大学のイベント参加者の集合場所で集まっていたらしい。齋藤代表がその学生にチラシを渡し、話しかけたところ、学生からは「この様なチラシは初めて見ました」と言っていたそうである。多く市民、若い人たちは興味とか関心が無いというよりは、事実を知らされていないということではないか、改めて私たちの主張が伝わるか共感を呼べるかはあるにしても、そういう行動の必要性を改めて実感した。今国会では、入管法改正案、防衛産業強化法案、GX関連法案など、私たちの生活や生命に関係する法案の審議、採決（強行）が目白押しである。それに対する行動もある。それらの行動に集中し頑張ろう。記：滝沢寿隆



## 5.1 第94回日比谷メーデー開催 午後から、反戦メーデー

晴天に恵まれた日比谷メーデーであった。テーマは「働く者の団結で生活と権利、平和と民主主義を守ろう！」であり、憲法の権利保障から読み解くと、前半は28条の勤労者の団結権・団体交渉権・団体行動権、25条の生存権他、後半は前文の平和的生存権と9条の戦争放棄、前文の国民主権を守ることが私たち労働者の団結



メーデーデモ行進

体である労働組合の課題として呼びかけられている。  
オープニング、開會宣言、主催者挨拶がなされ、連帯の挨拶は都労連、中央メーデー実行委員会、来賓の挨拶は東京都産業局長、福島参議院議員であった。労働条件の劣悪化としての非正規雇用の拡大と低賃金の状況と合わせて、ロシア・ウクラナ戦争の長期化や北朝鮮情勢、中国の台頭を理由とした岸田政権による安保三文書と敵基地攻撃能力の保有



メーデー会場

による大軍拡などの問題が異口同音に訴えられた。

メッセージ紹介の後で、アトラクションとして日比谷合唱団による合唱が行われ、「平和に生きる権利」という歌が今回のメーデーを特徴づけていた。続いて決意表明・訴えが述べられた。集会後はデモが行われた。

午後は、反戦メーデーにも参加してきた。自民党本部前での抗議行動は、警察による路上統制が行われ、抗議集会は本部の対向車線の歩道に囲いを作る形で行われた。主催者による警察への抗議と合わせて、各労組よりのアピールと福島参議院議員も参加をされて、岸田政権に対する抗議の発言をされた。まさに憲法の権利保障の危機において行われた、反戦メーデーであった。

## 5.8 ユニオン平和街宣行動 新橋SL前 憲法守れ、戦争反対、脱原発、最低賃金引き上げ、生活できる賃金を！



新橋SL前

5月8日に、ユニオン平和が定期的に行っている駅頭街宣行動が、新橋SL前で行われた。主張は、憲法の平和主義、脱原発、最賃引き上げ、そして労働争議の訴えである。

チラシは、4つ折り版を作成し配布した。とにかく今は声をあげることが大切である。戦争反対！武力では平和を守れないし、抑止という軍拡、そしてアメリカの中国敵視政策

に望んではめられ、アジアを危険にさらしている。ドイツは原発を停止したが、岸田首相は福島を忘れ、延

チラシ

長を決めている。そして、最賃の1.3倍までの労働者が3割を超えており、最低賃金を上げなければ生活を維持できない労働者が急



新橋SL前

激に拡大されている。岸田首相の行っている総デジタル化は、企業の怠慢のツケを労働者に負わせるだけである。

平和・人権・環境





4月27日、東部けんり総行動が行われた。快晴に恵まれ、4年ぶりのバス移動での抗議、支援行動になった。北千住駅で行われた出発式では、主催者から、「声を挙げて闘っている仲間を支えることは重要だ。」との挨拶。総行動は、①フソー化成、②日本通運本社、③ピーエス三菱本社、④日本航空本社での抗議行動を行うと提起があり移動。お互いさまからは9人が参加した。

2番目の日通本社前抗議行動はバス移動と現地参加者で行った。本社のドア前に会社の人、通路ギリギリには警備員が並んで立ち、総行動を威圧する中で始まった。抗議行動では「日通は労働者を使い捨てにするな」「岡田さんの闘いは労働者全体の闘いだ」「裁判



に勝利するぞ」と支援の発言が続々続いた。岡田さんから「理不尽な日通の18条潜脱は許すことはできません。私は日通に負けません」と怒りを込めた決意表明があり、「私の訴えは間違っていない」という自信が伝わってきました。職場を超えて連帯した抗議行動した。



最後に、はじめて行動に参加した組合員の感想を掲載する。「先日、初めて日本通運本社前集会に参加させて頂きました。暑い中、集まった皆さんの心も熱く燃えていました。



1人の女性の為に心を一つにして闘っている姿を見て、私も心が熱くなりました。日本の法律として、1日も早く安定した職、生活を送られるようにして頂きたいと思いました。」



## 日通無期転換逃れ最高裁闘争にご協力を!

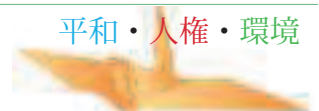


change.org ネット署名 に協力願います 寄付はしなくても賛同可能です。  
 ネット署名の手順- 1: 名前とメールアドレスを記載する、2: 賛同をクリックする  
 3: ChangeORG からメールが届くのでそのメールの認証をする  
 これで完了! ※スマホ等 QR コードからも署名できます  
 署名アドレス <https://chnge.it/KycNbFMm6L>  
 賛同者が多いほど、閲覧しやすくなりますので、よろしく願います。

※ 恐縮ですが、カンパのお願いもしております。よろしく願います。

振込先：郵便振替 0180-1-561308

通信欄が無記載の場合は「日通闘争カンパ」と記載願います。



# 5.3 憲法集会

## 憲法と戦争の危機



有明会場

5月3日、今年も有明防災公園で憲法大集会が開催され、会場には2万5千人の人たちが結集した。集会の前段には、新社会党と社民党の共同街宣が行われた。街頭演説は、両党が交互に行い、発言者は一同が「憲法を守ろう」と主張した。最後に岡崎宏美委員長が「国民主権、基本的人権、平和主義の憲法三



共同街宣

原則が踏みにじられた」、福島党首は「憲法守ろうとしないし、改訂を論じる資格はない」と訴えた。周辺では右翼が大型ハンド

スピーカー10台を並べ、街宣の妨害をしたが、にやけながら品のない言葉を吐いただけであった。

憲法集会は、前段にミニステージが行われ、13時からのメインステージは高田さんの挨拶ではじまった。スピーチの中から、沖縄大学地域研究所の泉川友樹さんを紹介する。「沖縄戦は、日本による中国侵略の背景下に起きた戦争でした。日本は戦後、深い反省の上に立ち、中国と平和共存の道を歩んできたことで、共に東アジアの平和に大きく貢献してきました。台湾の有事が日本の有事に結び付くという短絡的な発想が世の中に受け入れられてしまうのは、ほとんどの人が日中共同声明や日中平和友好条約を知らないからです。」「中国は15年連続で日本の最大の貿易相手国で、現在の二国間輸出入総額は43兆円に上り、お互いがかけがえのないパートナーなのです。日本政府は、中国との対話と外交に真剣に取り組むべきです。」と憲法に基づく平和外交を話された。



有明会場

## ユニオン平和に参加しましょう

ユニオン平和は、フォーラム平和・人権・環境に加盟しているユニオンの集合体です。平和・人権・環境に係わる諸課題の理論・情報・行動を発信していきます。

加入は、団体、サポーター会員として、個人単位での加入もお願いしています。

是非ご参加ください。

### 会費一年会費

団体：一口 1000円

個人：一口 1000円

※団体個人とも、可能な方は複数口お願いします。

※サポーター会員証を発行しています

平和・人権・環境